

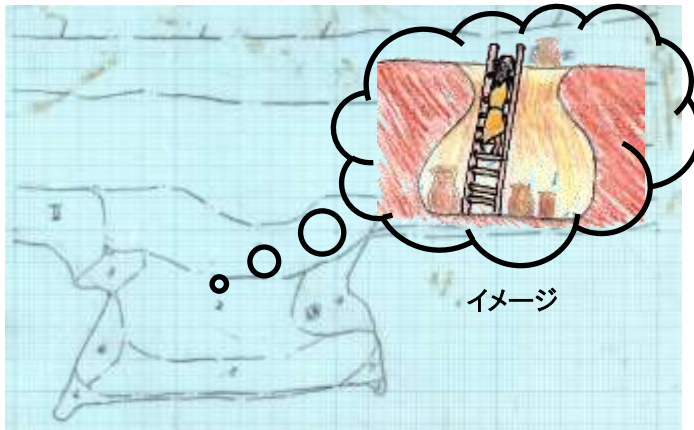
金堀沢遺跡

1 六ヶ所村教育委員会による試掘調査

金堀沢遺跡は小川原湖の北西に面し、小高い丘の上に位置しています。平成2年に六ヶ所村教育委員会の発掘調査によって、縄文時代の住居や貯蔵穴、墓、平安時代の住居跡が発見され、縄文時代と平安時代の集落遺跡であることが明らかになりました。



金堀沢遺跡地図



イメージ

縄文時代の貯蔵穴

フラスコのように掘られた穴が発見されました。縄文時代の貯蔵穴だったと考えられます。クリなど木の実を保存するための施設だと考えられます。



縄文時代の子供の墓

縄文土器が伏せられた状態で発見されました。縄文時代の子供のお墓であったと考えられます。



縄文時代の出土遺物



平安時代の出土遺物

2 東海大学による発掘調査

六ヶ所村では平安時代に人口が急増しました。その人々は本州の南側からの移住者でした。では、なぜここにやってきたのでしょうか。東海大学文学部教授松本建速氏は、当時の人々の生活ぶりを知るために調査しています。2014年度から発掘調査が始まり、様々な発見がありました。



金堀沢遺跡での主な発見

3 土の重なりは時間の経過

地面を掘ると、下層にしたがって土の色が変わってきます。これは時代によって、自然や人間の働きかけが異なるからです。

皆さんが発掘の道具で掘り起こしたその土は、長い年月をかけて少しずつ自然が積み重ねたものです。

私たちが当たり前で踏みしめている土には、その地の歴史を探るヒントが隠れています。



① 生活中的竪穴住居



② 竪穴住居が廃屋になる



③ 竪穴の中に土が溜まる



④ 盛土が埋まり窪地になる

図・写真

金堀沢遺跡地図…六ヶ所村教委2010『わたしたちの六ヶ所村』p115より引用、編集

縄文時代の貯蔵穴…1991年 六ヶ所村教育委員会実測図に菅野作成の絵を添付

縄文時代の子供の墓…1991年 六ヶ所村教育委員会撮影

縄文時代の出土遺物…2019年 菅野撮影

平安時代の出土遺物…2019年 菅野撮影

東海大学の発掘調査風景…2017年 松本撮影 2019年菅野加筆

フイゴの羽口…松本・秋田・宮原・栗田・菅野2018『青森県六ヶ所村金堀沢遺跡第1次～4次調査概報—埋まりきらない遺跡の研究—』『海と考古学』より引用

金堀沢遺跡の窪地1,000年史のイラスト…2019年 菅野作成